

藻類養殖情報（令和8年3月号）

令和8年3月16日発行

（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所

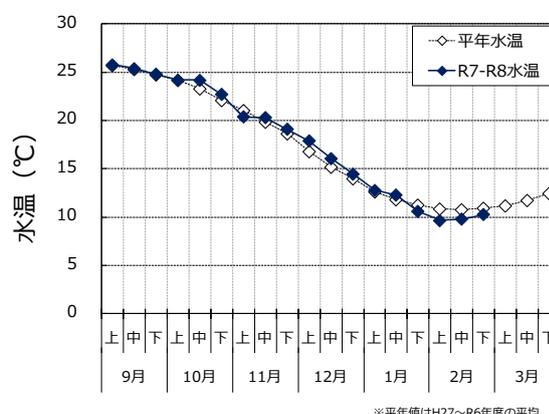
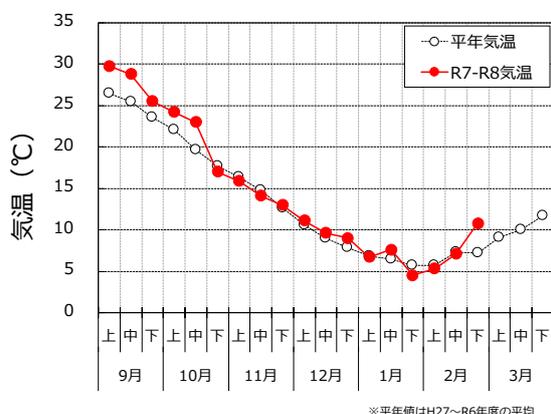
水産技術センター

○漁場環境

・気温（谷川）：2月上旬から中旬にかけては概ね平年並みに冷え込む日が続きましたが、下旬に入ると非常に暖かな日が続き、平年より3.6℃高く推移しました。

・水温（谷川）：2月上旬から中旬にかけては平年より1.0℃程度、下旬は0.6℃程度低めに推移しました。

下記の水産技術センターホームページで谷川地先の水温情報を毎日更新し、1週間先までの水温の推移を予測しておりますのでご利用下さい。URL：<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html>

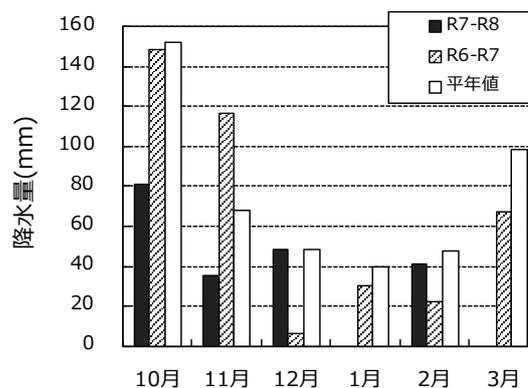


旬別気温・水温の推移（谷川地先9時）（平年値はH27～R6年度の平均）

・降水量（谷川）：2月の降水量は41mmとなり、平年よりやや少なくなりました。全く降雨の無かった1月から引き続き2月上旬にかけては降雨のほとんどない日が続きましたが、中旬に入ってようやくまとまった降雨があり、2月最終週にもまとまった降雨がありました。

・今後の気温降水量予測（気象庁季節予報）

3月14日～4月13日の予報期間中について、高気圧に覆われやすいため降水量は平年並みか少なく、少雨の状態が続く可能性があります。また、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多く、気温も高いと予報されています。



降水量（谷川地先）
（平均値はH27～R6年度の平均）

URL：<https://www.jma.go.jp/bosai/season/>



○漁場水質調査結果（3月9日採水）

- 塩分：塩分は25.99～32.37でした。
- リン：各地区のリン濃度は0.08～0.89 $\mu\text{mol/l}$ でした。
ワカメ養殖：岡田浦・西鳥取・下荘地区ではワカメの色落ち警戒濃度を下回る非常に低い値となっています。
ノリ養殖：西鳥取地区ではノリの色落ち警戒濃度を大きく下回りました。
- 窒素：各地区の窒素濃度は0.73～24.08 $\mu\text{mol/l}$ でした。なお、淡輪では高い値となっていますが、塩分が低い値となっていることから、陸から流入する水の影響が出ているものと思われます。
ワカメ養殖：岡田浦・西鳥取・下荘地区ではワカメの色落ち警戒濃度を下回る低い値となっています。
ノリ養殖：西鳥取地区ではノリの色落ち警戒濃度を大きく下回りました。

	ワカメ	ノリ
リン ($\mu\text{mol/l}$)	0.1	0.5
窒素 ($\mu\text{mol/l}$)	2	10

藻類色落ち警戒栄養塩濃度
 （この数値を下回ると色落ちの可能性あり）

※青字はノリの色落ち警戒濃度以下、赤字はワカメの色落ち警戒濃度以下

漁場	田尻	岡田浦	尾崎*1	西鳥取*1	下荘	淡輪*2	谷川
塩分 (psu)	32.28	32.27	30.65	32.37	32.33	25.99	32.34
リン ($\mu\text{mol/l}$)	0.16	0.09	0.89	0.08	0.08	0.69	0.40
窒素 ($\mu\text{mol/l}$)	2.30	0.96	13.90	0.77	0.73	24.08	3.80

*1 尾崎・西鳥取地区にノリ漁場があります

*2 淡輪地区は海洋センター前で採水しています

○赤潮発生状況

現在、大阪湾内に赤潮の発生は確認されていません。また、養殖場の周辺についても植物プランクトンの大量発生は確認されていません。最近の大阪湾内の赤潮発生状況については下記の水産技術センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい（冬季は2週間に1回更新）。

URL：<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/akashio/akashio/sokuho.html>



○養殖状況（3月9日）

- ノリ：2月中は著しい色落ちが生じ、板海苔の生産が中断される時期が続きました。品質が安定せず3月上旬に養殖を切り上げる漁場もありました。
- ワカメ：一部地区では2月中には栄養塩の低下による著しい色落ちが生じました。3月に入り若干の回復がみられ、生わかめでの出荷が進められています。塩蔵わかめの生産も進められています。

○病害異常

海中の栄養塩濃度が低いため、ノリ、ワカメともに色落ちが生じるような状況が継続しています。1月に降に雨が降らず、河川からの栄養が供給されにくい状況が続いており、2月に入って降雨があっても栄養塩の回復につながらなかった様子です。

※ノリ・ワカメの異常が疑われる際には、水産技術センターへ葉体を持参して頂ければ、随時検査します。